

麻酔科

1) 診療科紹介

地域の中核病院として、年間全手術件数は 1500 例を超えている。常勤麻酔科医は 1 名であり、数名の非常勤麻酔科医とともに麻酔管理を担当している。

心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科他に重症症例は十分に経験できる。

手術麻酔以外の領域のペインクリニック、集中治療や救急医療はマンパワー不足のため現在は担当していないが、希望に応じて基本を研修することは可能である。

2) 関連学会

日本麻酔科学会 <http://www.anesth.or.jp/>

日本臨床麻酔学会 <http://jsca.umin.jp/>

日本ペインクリニック学会 <http://www.jspc.gr.jp/>

日本集中治療医学会 <http://www.jsicm.org/>

3) 施設認定・指導医・専門医

施設認定：2009年4月1日～2014年3月31日

指導医・研修責任者：原直樹

日本麻酔科学会麻酔科指導医、日本ペインクリニック学会専門医

4) 関連学会の専門医受験資格

日本麻酔科学会の認定制度は3段階方式をとっている。

① 麻酔科認定医：2年目

学会が定める所定の審査に合格し、認定された医師。

② 麻酔科専門医：6年目

筆記試験・口頭試問に合格し、麻酔科関連業務に専従する医師。

認定医資格取得後、満2年以上麻酔科関連業務に専従していること。

③ 麻酔科指導医：10年目

学会が定める所定の審査に合格し、認定医や専門医を指導・育成するために十分な能力を有することを認定され、麻酔科関連業務に専従する医師。

5) 関連学会が定めた研修カリキュラム

http://www.anesth.or.jp/certification/edu_guideline.html

6) 後期研修の目標

麻酔科標榜医および認定医を取得する。

安全かつ良質な麻酔を施行できる。

7) 目標達成のための戦略

最新の知見を得る。経験した症例を再検討する。

当院は手術件数が多く、麻酔科指導医の資格がある常勤医および他施設の麻酔科専門医・指導医から指導を受けることができる。

8) 年度ごとの研修

1年次：気管挿管、中心静脈カテーテルの留置などの麻酔管理の基本的な手技の習得。

2年次：硬膜外鎮痛法、安全な術後鎮痛法の習得。周術期管理の習得。

3年次：経食道エコーなど様々な循環器モニターを用いて重症症例の麻酔管理を行う。

4年次：麻酔科指導医とともに、麻酔科研修医に対して麻酔管理の指導を行う。

9) 大学医局との関連

大阪医科大学との関連はある。

10) 将来の進路

当病院で常勤医として勤務する。

麻酔科医の慢性的な供給不足の状態は今後も続くと考えられるので需要は多い。

大学院への進学や転科も可能である。

11) 研修問い合わせ先

医療法人財団康生会 武田病院 臨床研修委員会

電子メール・アドレス： info@takedahp.or.jp